

令和3年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 令和3年度第1回理事会

ア 日時及び場所

令和3年5月28日(金) 10時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 平成2年度事業報告及び決算報告について
- ・議案第2号 令和3年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2) 令和3年度第1回評議員会

ア 日時及び場所

令和3年6月15日(火) 15時30分～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 平成2年度事業報告について
- ・議案第1号 平成2年度決算報告について
- ・議案第2号 理事の選任について

(3) 令和3年度第2回理事会

ア 日時及び場所

令和3年6月16日(水) 15時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・議案第1号 常務理事の選定について
- ・議案第2号 事務局長の選任について

(4) 令和3年度第3回理事会

ア 日時及び場所

令和4年3月15日(火) 10時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和4年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 組織規程の改正について
- ・議案第3号 ハラスメント防止に関する規定の制定について
- ・議案第4号 令和3年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(5) 令和3年度第2回評議員会

ア 日時及び場所

令和4年3月25日(金) 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・議案第1号 令和4年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 評議員の選任について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：20公演33回】

新型コロナウイルス感染症に伴い3公演6回が中止となったが、17公演27回（定期公演8回、企画公演7回、研究公演1回、普及公演11回）を実施した。

ア 公演実績（カッコ内は年度計画の数値）

区分	公 演 名	公演数	回 数
定期公演	組踊	3 (3)	3 (3)
	琉球舞踊	3 (4)	4 (6)
	三線音楽	1 (1)	1 (1)
	沖縄芝居	0 (1)	0 (2)
	民俗芸能	0 (0)	0 (0)
		7 (9)	8 (12)
企画公演	新作組踊	1 (1)	1 (1)
	アジア・太平洋地域の芸能	1 (1)	1 (1)
	本土の芸能	1 (1)	1 (1)
	その他	2 (2)	4 (4)
		5 (5)	7 (7)
研究公演	組踊「伊祖の子組」	1 (1)	1 (1)
普及公演	組踊鑑賞教室	3 (4)	9 (11)
	琉球舞踊鑑賞教室	0 (0)	0 (0)
	沖縄芝居鑑賞教室	1 (1)	2 (2)
		4 (5)	11 (13)
合 計		17 (20)	27 (33)

※【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は巻末に掲載

イ 実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止又は観客数を半分とした公演もあったが、出演者やスタッフは、マスク着用、手指消毒、換気等を含めPCR検査を受けるなど感染対策を徹底し、劇場公演継続の努力を図った。

定期公演では、上演機会の少ない作品である「大川敵討」の上演に当たっては、現存する作品の中で最も長編大作といわれ、出演人数も多いことから、コロナ対策として「糺しの場」を抜粋して上演した。

また、琉球舞踊「男性舞踊家の会」、沖縄芝居「与那国シヨンガネー」はコロナ感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされたが、無観客で映像を収録し、後日、スクリーン上映会（男性舞踊家の会）及び有料動画配信（男性舞踊家の会、与那国シヨンガネー）を行った。

企画公演では、2020年に逝去された沖縄初の芥川賞作家、大城立裕氏の2作品「首里城物語」「真珠道」を上演し、それにあわせてロビーやホワイエ、レファレンスルームで大城立裕氏作品の舞台写真などのパネルや初演時の台本、関連図書の展示を行ったほか、「ゆらていく遊ば」は、映像を活用した演出や、ホワイエにおいて記念撮影コーナーや過去の「ゆらていく遊ば」映像コーナーを設置するなど工夫を行った。また、「アジア・太平洋地域の芸能」は、コロナの影響により海外から招聘できないため、国内で活躍している実演家で企画・上演し、「国立劇場寄席」も感染対策を徹底した上で実施した。

普及公演では、組踊鑑賞教室「銘苺子」（10月）、「執心鐘入」（11月）を上演し、組踊の魅力をより多くの方々に気軽に楽しんでいただけるよう、組踊の歴史や

鑑賞ポイントなど解説を交えて実施した。また、公演PR用に「万歳敵討」「銘苅子」「執心鐘入」それぞれのゆかりの地を巡る動画を作成し配信した。

研究公演では、「雪払い」と異名同作といわれる組踊「伊祖の子組」を上演した。台本が複数存在するなか、八重山博物館所蔵本を取り上げて、「伊祖の子組文芸研究会」を立ち上げ、台本考証を行い、舞台化を図った。

(2) 自主公演の開催準備

令和4年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を令和3年8月25日、令和4年3月1日に開催した。

(3) 沖縄県文化観光戦略推進事業（文化観光基盤整備事業）

県外（富山県）において、組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

- ・令和4年3月20日（日）／富山県教育文化会館／1ステージ（鑑賞者数293名）

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業

観劇の際に利用する貸切バスの費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。（15件36台分助成）

(5) 組踊ワークショップ等の実施

ア 県内ワークショップ

組踊「大川敵討」（^{ただ}糺しの場）及び「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを開催した。

組踊公演「大川敵討」（^{ただ}糺しの場）では、近畿日本ツーリスト沖縄と連携し、公演日に琉球の歴史文化を学ぶ鑑賞ツアーを実施することで、県外観光客等の誘客を図った。（令和3年7月10日（土）参加者計11名）

また、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」のワークショップでは、外国人が参加できるよう英語通訳を配置し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただいた。（令和3年11月27日（土）参加者27名）

イ 県外ワークショップ

富山県教育文化会館と共催で開催する「琉球舞踊と組踊 富山特別公演（3/20）」に併せて、事前の組踊ワークショップを開催した。

- ・令和4年3月4日（金）／富山県 高志の国文学館（参加者28名）

(6) 舞台公演コンテンツの配信

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、無観客での開催となった公演を中心に「男性舞踊家の会」、「執心鐘入」及び「与那国シヨンガネー」について有料動画の配信を行った。

(7) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演の広報・宣伝活動の推進

- ・公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。
- ・チラシラックを県庁、観光関連施設、道の駅等に設置し、チラシを自由に取ってもらうようにした。また、近隣市町村の公民館にあるサークルボックス（350団

体)にチラシを配布した。

イ 看板、ポスター等掲出

- ・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、ホテル、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

(ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」、「PRTIMES」 「うらそえナビ」、「VISIT OKINAWA JAPAN」、「じゃらんnet」、
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」、「JAL機内配布クーポン誌 ちゅらナビ」(以上季刊誌)、「そらくる沖縄」(年1回)

(イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

- ・「モモト VOL. 47」にて自主公演の案内を掲載。

エ その他

(ア) 公演解説書「ステージガイド」を月単位で発行し、販売した。

(イ) 令和4年度自主公演年間予定表の多言語版(英語・繁体語・簡体語・韓国語)を制作し、観光施設等で配布した。

(ウ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、ホームページへの掲載及び劇場等での配布を行った。

(エ) 2022年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配付を行った。

(オ) 「朝薫の五番」リーフレット作成(日本語版・英語版)。

(カ) 外国人観客の案内や問い合わせに対応するための多言語対応のタブレットによる通訳サービスの実施

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊(立方・地方)の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

- (1) 研修の実施(第6期組踊研修:令和2年4月~令和5年3月)
組踊(立方・地方):第6期(9名)の2年目の研修を実施。
立方5名及び地方4名(歌三線4名)

- (2) 主な講師
宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか(総勢16名)

- (3) 養成状況

ア 主な授業

組踊実技(立方、三線)、副実技(琉球舞踊、笛等)、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、琉球古典語基礎、詞章研究、組踊史跡見学、公演見学、研修発表会

- イ 授業回数 合計452回
 - ・組踊実技の実施（90分の278回 立方139回・地方139回）
 - ・副実技の実施（90分の48回）
 - ・基礎実技の実施（90分の88回）
 - ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の16回）
 - ・鑑賞・見学研修の実施（90分の20回）
 - ・研修発表会の実施2回

- ウ 休暇等
 - 夏季休暇 令和3年8月23日～8月31日
 - 冬季休暇 令和3年12月20日～令和4年1月3日

(4) 研修生発表会の実施

- ア 第六期組踊研修生第3回発表会：令和3年10月7日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：組踊「孝行の巻」
鑑賞者数：180名
- イ 第六期組踊研修生第4回発表会：令和4年3月3日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：琉球古典音楽独唱（二揚下出し仲風節、二揚下出し述懐節、二揚仲風節、二揚述懐節）、組踊「女物狂」
鑑賞者数：175名

(5) メニュー、研修実施方法等の検討

- ア 組踊研修講師会議の実施（年間4回）
- イ 養成事業委員会の開催
組踊養成事業に関する現状及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を令和4年3月14日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第11回発表会：令和3年12月4日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：琉球舞踊（作田、浜千鳥、久志の若按司道行口説）、組踊「奇縁の巻」
鑑賞者数：323名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	11	138	9	158
逐次刊行物	冊	71	174	24	269
公演・演出台本	冊	0	6	19	25
上演資料集	冊	0	6	6	12
合 計		82	324	58	464

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	20	20
録画テープ (VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ (DVCAM)	本	0	0	32	32
録画テープ (HDCAM)	本	0	0	32	32
DVD	枚	0	0	0	0
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	0	0	0	0
ポスター	枚	0	2	48	50
チラシ	冊	0	0	2	2
展示図録	点	0	14	0	14
冊子	点	0	0	0	0
合 計		0	16	134	150

(2) 上演資料集、古文献等の調査研究等

国立劇場おきなわの自主公演より演目を選び、上演記録、演技・指導に関する資料、論文等を収録し、演技演出の向上に活用するため刊行した。

- ・国立劇場おきなわ上演資料集〈No.48〉「伊祖の子組」、芸能資料集「躍衣裳の研究1」

(3) 展示

沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるため、国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示した。

また、第3回企画展「御冠船躍の彩々」の展示解説について、外国人向けに、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語の翻訳パンフレット作成・無料配付し、組踊・琉球舞踊の魅力を紹介した。

期 間	名 称	内 容
令和3年 4月10日(土) ～6月20日(日) 〈68日〉	第1回 企画展 「舞のこころ —近現代の女性舞踊家—」	芸能を極め、人間国宝に認定された皆さんの楽器、衣裳、映像等の展示を通して、これまでの功績を振り返るとともに、普段知ることのできない様々な一面を紹介した。
令和3年 7月3日(土) ～9月20日(日) 〈64日〉	第2回 企画展 「子どもと芸能」	子どもに関する芸能について、組踊、琉球舞踊など様々な角度から紹介した。
令和3年 10月2日(土) ～12月5日(日) 〈65日〉	第3回 企画展 「御冠船躍の彩々」	琉球王国時代、中国から訪れる冊封使を「ウトゥイムチ（お取り持ち）」するため、披露された御冠船躍について、入子躍、唐棒、獅子舞、からくり花火などに注目し、御冠船躍の多彩な演目について紹介した。
令和4年 1月8日(土) ～3月21日(日) 〈73日〉	第4回 企画展 「雪ものがたり」	八重山で発見された台本・組踊「伊祖の子組」の上演にちなみ、「伊祖の子組」及び異名同作とされる組踊「雪払い」、さらに、能「竹雪」について紹介した。雪の降らない沖縄で上演されてきた、雪と継子いじめの物語について考察する展示です。併せて、八重山舞踊 勤王流を紹介した。

※ 8/7～9/20の土日祝日は、沖縄県対処方針に基づき閉室。

【4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）】6,566名（270日間）

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

ア 自主公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。

イ 組踊公演（2回）の小道具を写真撮影。

ウ 公演記録鑑賞会を3回実施、入場者数合計425名。

(5) 公開講座

伝統芸能の理解促進と普及を図るため、以下のとおり伝統芸能に関する公開研究講座を3回実施した。本年は公演記録鑑賞会と同時開催として、映像鑑賞を含めることで観客の興味を喚起した。なお、密を避けるため、会場を会議室から小劇場や大劇場に移し、コロナ対策を徹底した。

- ・「御冠船躍の彩々」 令和3年10月12日
首里城と芸能をテーマとするシリーズの一環。琉球芸能の文化的特質を掘り下げるとともに、花火・入子躍・獅子舞・棒踊りを宮廷文化として位置付けて俯瞰した。（大劇場/観客数 196名）※P10（3）に再掲
- ・「こどもサマースクール」 令和3年11月7日
コロナ禍で、こどもたちの体験学習が減ったことから、文化庁主導の事業として始まった。劇場ならではの体験として、劇場紹介や琉球芸能・琉球花火を紹介するゼミナールに加え、特別コースでは、子どもたち16名が7回のレッスンを経て舞台上で喜歌劇を発表した。（大稽古場・大劇場/参加者 179名）
- ・「能『竹雪』を知る」 令和4年1月12日
研究公演「組踊・伊祖の子組」の上演に関連して、同作品の翻案原作とされる能「竹雪」の映像鑑賞と解説・鼎談を行った。（小劇場/観客数 50名）

(6) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

レファレンスルーム利用者：1,642名（うち一般320名）

映像・音声視聴：890件（1,145時間）、映像・音声複製：39件（31時間）

公開資料：平成16年度～令和3年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(7) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、県外公演（富山特別公演（3/20））に合わせて衣装等の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

令和3年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	2	4	6	11	8	15
演劇	0	0	7	15	7	15
舞踊	4	7	18	38	22	45
古典音楽	1	3	5	10	6	13
民謡	1	1	1	1	2	2
民俗芸能	1	1	0	0	1	1
その他（講演会等）	6	9	1	1	7	10
計	15	25	38	76	53	101

【令和2年度実績との比較】

大劇場：件数で5件の増、使用日数で6日の増。

小劇場：件数で24件の増、使用日数で47日の増。

大劇場及び小劇場の合計：件数で29件の増、使用日数で53日の増

イ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	403件	1,858.0時間
中稽古室	427件	1,567.5時間
第1・2小稽古室	290件	1,101.0時間
第2小稽古室	305件	796.5時間
第3小稽古室	481件	1,305.5時間
第5小稽古室	416件	1,365.5時間
第6小稽古室	595件	2,035.0時間
交流プラザ・会議室	172件	684.0時間
合計	3,089件	10,713.0時間

※令和2年度の実績と比較すると、件数で1,408件の増、使用時間で6,175時間の増。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

ア 施設利用の案内をホームページに掲載するとともに、適宜、貸劇場の空き状況を掲載した。

イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを配布し、貸劇場の広報宣伝を行った。

ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。

エ 令和4年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。

オ 利用が少ない4－6月期の需要開拓に向け、浦添市内の企業に対し、入社式や社内研修等の開催により劇場利用を促進する案内チラシの配布を浦添市商工会議所に依頼した。

カ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷して館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

キ 貸公演主催者へ向けて、「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」や「貸公演における対策の具体例」を郵送するとともに、ホームページへも掲載する

ことで感染対策の周知徹底を図った。

(3) 国立劇場おきなわ施設使用予約システムの運用開始

ア 稽古室等の利用者の利便性を図るため、令和3年5月から、国立劇場おきなわ施設使用予約システム（通称：稽古室使い隊！）の運用を開始し、ウェブ上で稽古室等の予約が行えるようになった。

イ 本システムの稼働により、24時間いつでも稽古室等の予約を行うことが可能となっている。

ウ 令和3年7月からは、稽古室等の使用料について、クレジットカードによる支払及びコンビニでの支払が可能となっている。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

(1) 業務委託費

ア 警備業務請負契約

イ 清掃業務請負契約

ウ 施設運転監視業務請負契約

エ 舞台技術常駐業務請負契約

オ 劇場案内等業務委託契約

(2) 機械保守費

ア 中央監視システム保守点検業務請負契約

イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約

ウ 舞台機構保守請負契約

エ 音響設備定期保守業務請負契約

オ 照明設備定期保守業務請負契約

カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 「日本博」関連事業

(1) 自主公演のうち日本博事業として実施した公演

- ・ 7月10日 組踊「大川敵討」（糺しの場）
- ・ 8月7日, 8日 親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」 ※公演中止
- ・ 10月23日 組踊鑑賞教室「銘苺子」
- ・ 11月27日 はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「執心鐘入」
- ・ 1月15日, 16日 琉球舞踊特選会
- ・ 1月22日 組踊「伊祖の子組」
- ・ 2月12日 組踊「二童敵討」
- ・ 2月26日, 27日 歌舞劇「首里城物語」
- ・ 3月12日 新作組踊「真珠道」

(2) オーディオガイドシステム等の導入

組踊鑑賞教室「銘苺子」において2言語（日・英）のオーディオガイドと英語の字幕タブレット、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『執心鐘入』」において、4言語（日・英・中・韓）のオーディオガイドと6言語（英・中/繁・中/簡・韓・スペイン・ポルトガル）の字幕タブレット、また、組踊「二童敵討」では、英語の字幕

タブレットを導入し、外国人客や初めて鑑賞する来場者などの観劇の手助けとした。

(3) 公開講座「御冠船躍の彩々」(P7(5)の再掲)

昨年につき、首里城と芸能の関わりをテーマにした講座。劇場の立場で首里城復興の一助とするため、琉球芸能が宮廷文化として首里城で発祥・発展したことを明らかにする。今回は花火・入子躍・獅子舞・棒踊りを宮廷文化として位置付けて俯瞰し、琉球芸能の文化的特質を掘り下げて理解を深めた。

また、当日にからくり花火「大団扇」の実演を予定していたが、天候不良のため、翌々日に決行した。1866年に尚泰王と冊封使の観覧に供された5つのからくり花火のうち、3つめの復元ができた。(大劇場/観客数196人)

(4) 沖縄伝統芸能の多言語PR映像制作

外国人をメインターゲットとした沖縄伝統芸能と関連する沖縄の風景をPRする映像を制作した。日本語版・うちなーぐち版・英語版・韓国語版・中国語版・スペイン語版・ポルトガル版を制作し、国内外に配信するコンテンツの強化を図った。

さらに、SNS等を活用したプロモーションを実施し、コロナ禍においても、継続的な沖縄伝統芸能の普及、継承を図った。(YouTube再生回数 日本語498回、うちなーぐち905回、英語47,135回、韓国語5,855回、中国語3,407回、スペイン語479回、ポルトガル語632回。※令和4年5月10日現在時点)

8 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加に取り組んだ。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
会員数	1,992	1,810	1,636	1,670	1,648	1,266	1,345

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施

自主公演を継続して鑑賞する会員の便宜を図ることを目的として、当劇場で活躍する実演家が、伝統芸能の魅力や演じるうえで工夫していること等をトーク形式で談話する「実演家 ザ談会 Vol.2」を開催した。

(令和4年2月27日/参加人数62名)

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

- ・「友の会入会金0円キャンペーン」

7月から11月までに上演される普及公演のチケット購入者に限り、公演当日までの入会で入会金を0円とした。(新規入会者：37名)

- ・ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン(1月～3月)

既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈した。(新規入会者：175名)

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	25件	4件	19件	48件
収入	金額	2,050千円	350千円	295千円	2,695千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場等募金を募った。

募金収入	件数	197件
	金額	987千円

(3) 劇場ホームページ等の充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 令和3年度アクセス件数606,515件(月平均50,543件)

イ メールマガジン(月1回発行)

ウ 国立劇場おきなわSNS(YouTube、LINE、Facebook、Instagram、Twitter)を活用し、自主公演やイベントの情報を配信。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出演者
1	定期公演	4月24日	昼	三線音楽 古典音楽の美 第一部 古典音楽斉唱（安富祖流） 「通水節・本田名節」 古典音楽独唱（野村流・安富祖流） 「述懐節」「下出し述懐節」 第二部 古典音楽斉唱（野村流） 「東江節・伊江節」 古典音楽独唱（湛水流） 「作田節」「諸鈍節」「暁節」 古典音楽独唱～中村一雄の世界～ 「本調子仲風節・世渡節」	中村一雄、島袋英治、大湾清之 濱元征爾、銘苅盛隆、山城暁 比嘉康春、照喜名進、渡久山春憲 宮里秀明、花城英樹、玉城和樹 大城貴幸、與那國太介、和田信一 平良大、竹田祐規、大城建大郎 仲嶺良盛、山内昌也、仲村逸夫 國吉啓介、謝敷アナル、喜納吏一 仲村渠達也、佐久田朝太 棚原健太、新垣勝裕
2	定期公演	5月15日	昼	組踊 執心鐘入 第一部 琉球舞踊 「女こてい節」「若衆揚口説」 「前の浜」「本嘉手久」 「人盗人」 第二部 組踊「執心鐘入」	與那嶺奈津子、金城有紀、喜納彩華、高嶺美和子、根路銘広美 平田智之、平田征之丞 宮城茂雄、親泊久玄、親泊興照 田口博章、仲村圭央、玉城匠 岡本凌、下地心一郎 西江喜春、花城英樹、玉城和樹 仲嶺良盛、上地律子、宮城英夫 川平賀道、比嘉聰
3	定期公演	6月19日	昼	琉球舞踊 男性舞踊家の会 第一部「かぎやで風」「揚作田」 「柳」「汀間当」「仲里節」 第二部「天川」「高平良万歳」 「加那よー」「谷茶前」「糸満乙女」「海の民」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ※令和3年9月25日スクリーン上映会 ※令和4年1月21日～27日有料配信	阿嘉修、新垣悟、伊藝武士 石川直也、上原崇弘、宇座仁一 大浜暢明、嘉数幸雅、金城真次 佐喜眞一輝、田口博章、玉城匠 仲村圭央、比嘉大志、宮城茂雄 仲村渠達也、仲田知広、徳田泰樹 上原睦三、與那國太介、横山太陽 町田倫士、入嵩西諭、照屋早月 宮里和希
4	定期公演	7月10日	昼	組踊 大川敵討（糺しの場） 第一部 琉球舞踊 「作田」「花風」「諸屯」 「打組むんじゅる」 第二部 組踊「大川敵討」	山内小夜、伊波正江、上原きみ子 中川鈴子、島尻ひさみ 玉城盛義、佐辺良和、石川直也 親泊久玄、仲村圭央、佐喜眞一輝 岡本凌 照喜名進、照喜名朝國、幸喜信明 上原睦三、安慶名久美子 宇保朝輝、運天伊作、賀数さやか
5	定期公演	7月23日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞会① 第一部「苧引」「ぜい」「伊野波節」 第二部「むんじゅる」「かたみ節」「取納奉行」「護身の舞」 「藍千鳥」「新加那よ」	永山玲緒奈、宮城茂雄、宮城りつ子、平良芽美、山入端直美、宮城園美、阿嘉修、真境名英美、喜屋武愛香、皆川律子 城間盛久、新垣俊道、仲村逸夫 赤嶺和子、金城裕幸、前田博美 金城安恵、大湾清之、横目大哉 和田信一、宮里秀明、澤井每里子 森田夏子、横目大通
6	定期公演	7月24日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞会② 第一部「作田」「早口説」「高平良万歳」「諸屯」 第二部「浜千鳥」「汀間当」「あらの一粒」「花風」「美童ナークニー」「よ一加那よ」	比嘉いずみ、東江裕吉、花岡尚子 仲程めぐみ、比嘉清子、呉屋かなめ、島袋秀乃、砂川沙夜香、浦崎みゆき、喜納かおり、大湾三瑠 城間盛久、新垣俊道、仲村逸夫 赤嶺和子、金城裕幸、前田博美 金城安恵、大湾清之、横目大哉 和田信一、宮里秀明、澤井每里子 森田夏子、横目大通

期 日 等				公演名・演目	出演者	
7	普及公演	8月7日 8月8日	昼	組踊	親子のための組踊鑑賞教室 組踊「万歳敵討」	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
8	普及公演	9月16日 9月17日	昼	沖縄芝居	沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」 第一部 琉球舞踊・短編歌劇 「前の浜」「醜童」「汀間当」 「金細工」「茶売やー」 第二部 沖縄芝居「黒島王物語」	高宮城実人、当銘由亮、平田晴香 座喜味米子、上原崇弘、比嘉大志 山城峻弥、川満香多、金城真次 玉城匠、伊藝武士、比嘉克之 小嶺和佳子、安次嶺正美、古謝渚 高里風花、知念亜希 花城英樹、平良大、比嘉千咲 大城建太郎、久志大樹
9	定期公演	9月18日	昼夜	沖縄芝居	「与那国シヨングナー」 「黒島王物語」 第一部「黒島王物語」 第二部「与那国シヨングナー」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ※令和4年3月4日～10日 有料配信	当銘由亮、平田晴香、座喜味米子 上原崇弘、比嘉大志、山城峻弥 川満香多、金城真次、玉城匠 伊藝武士、比嘉克之 ほか 東江裕吉、知念亜希、小嶺和佳子 瀬名波孝子、嘉数好子、宇座仁一 照屋夏美、高宮城実人、安次嶺正美、古謝渚 ほか
10	普及公演	10月23日	朝昼	組踊	組踊鑑賞教室 組踊「銘苺子」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「銘苺子」	比嘉大志、川満香多、新垣悟 渡名喜苺英、富島花音、池間隼人 宮里光也、知花令磨、下地心一郎 喜名吏一、仲尾勝成、佐久田朝太 大城礼乃、座間味大斗、又吉恭平 石嶺哲
11	企画公演	10月31日	昼	アジア・太平洋地域の芸能	アジア・太平洋地域の芸能 ～インド・バリ・ポリネシアの芸能～ [第一部]インドの芸能 「Shankarabharanam pallavi」 「Chandana charchita」 [第二部]インドネシア・バリの芸能 「Legong Kuntul」 「Sekar Gendot」 「Teruna Jaya」 [第三部]ポリネシアの芸能 「Aotearoa・Hula・Tonga・Samoa・Tahiti」	野中ミキ、直原牧子、新垣綾 寺原太郎、吉田こうき、石田紫織 山本英里、與那城常和子、仲本久乃、イ・プトゥ・グデ・スティア ワン、増野亜子、鈴木良枝、マタハリ・トゥルビット、堀内 PUALAN 保子、Okuto Horiuchi、 Chaz kapiliokekai Ah puck、角鹿ゆな、濱野葵、熊谷聖奈、Ah puck 有紗 ほか
12	企画公演	11月13日	夜	本土の芸能	国立劇場寄席 客寄囃子の実演解説、落語、紙切り、漫才	柳亭市馬、春風亭一朝、柳家喬之助、春風亭一花、林家二楽、ロケット団、田村かよ
13	普及公演	11月24日 11月25日 11月26日	朝昼 朝昼 朝昼	組踊	組踊鑑賞教室「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」 ※第二部組踊本編のみ有料配信 令和4年2月18日～2月24日 (日本語字幕) 令和4年2月18日～3月21日 (英語字幕)	伊藝武士、比嘉大志、金城真次、 宮城茂雄、平田智之、親泊久玄、 新垣悟、玉城匠、高井賢太郎 仲村渠達也、仲田知広、徳田泰樹 町田倫士、入嵩西諭、大城建太郎 照屋早月、宮里和希
14	普及公演	11月27日	昼	組踊	はじめての組踊 ～DiscoverKUMIODORI～「執心鐘入」 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「執心鐘入」	伊藝武士、比嘉大志、金城真次、 宮城茂雄、平田智之、親泊久玄、 新垣悟、玉城匠、高井賢太郎 仲村渠達也、仲田知広、徳田泰樹 町田倫士、大城建太郎、照屋早月 久志大樹

期 日 等				公演名・演目	出演者	
15	企画公演	12月18日 12月19日	昼 昼	その他	ゆらていく遊ば 喜劇「うるま西遊記 ～沙悟浄、涙のつんだら節～」	玉城匠、知花小百合、高宮城実人 平良大、宮城茂雄、知念亜希 伊禮門綾、上原崇弘、宇座仁一 瀬名波孝子 ほか 仲村逸夫、玉城和樹、和田信一 池間北斗、入嵩西諭、森田夏子 久志大樹
16	定期公演	1月15日 1月16日	昼 昼	琉球舞踊	琉球舞踊特選会 【15日】 第一部「かぎやで風」「天川」 「汀間当」「諸屯」「獅子舞」 第二部「寿」「若衆御祝笠」 「本貫花」「南洋浜千鳥」 「加那よー」 【16日】 第一部「かぎやで風」「稲まづ ん」「花風」「獅子舞」 第二部「寿」「若衆御祝笠」 「取納奉行」「諸屯」	【15日】 金城光子、比嘉美好、玉城静江 比嘉涼子、我那覇則子、宮城豊子 【16日】 古謝弘子、海勢頭あける 安次富紀子、島袋君子 【15日16日共通】 玉城盛義、東江裕吉、山川昭子 大城直江、多和田美幸、宮城尚子 佐渡山也子、上原智子 ほか 照喜名進、與那國太介、竹田祐規 城間盛久、長浜真輝、仲村逸夫 神谷和枝、宮城英夫、川平賀道 宇座嘉憲、赤嶺和子、仲田治巳 祖堅信義、金城盛松
17	研究公演	1月22日	昼	組踊	組踊「伊祖の子組」 第一部 八重山舞踊 「赤馬節」「鶴亀節」「古見の浦 節」「鳩間節」「石ぬ屏風」 第二部 組踊「伊祖の子組」	喜舎場慶子、真玉橋光子、名城功 子、佐藤清香、伊良皆櫻、山里静 香、米盛須美恵、川井民枝、山里 恵子、竹田祐規、石垣信岳、喜屋 武奈美、友寄朱里、宮良清晃、加 川アキ子 石川直也、阿嘉修、山城峻弥 宮里光也、川満俊祐、大城貴幸 和田信一、仲嶺良盛、糸数成美 横目大哉、徳田泰樹、久志大樹
18	定期公演	2月12日	昼	組踊	組踊「二童敵討」 第一部 琉球舞踊 「稲まづん」「揚作田」「波平大 主道行口説」「むんじゅる」「鳩 間節」 第二部 組踊「二童敵討」	具志なおみ、山城紀子、宮平友子 嘉手苺林一、比嘉加奈子 玉城侑香季、宇座仁一、田口博章 仲村圭央、真境名律弘、石川直也 佐喜眞一輝、新垣悟、伊藝武士 比嘉康春、喜納吏一、佐久田朝太 徳田泰樹、大城礼乃、豊里美保 前田博美、横目大通
19	企画公演	2月26日 2月27日	昼 昼	その他	歌舞劇「首里城物語」	玉城盛義、宮城茂雄、花岡尚子 上原美希子、大浜暢明、横田鈴奈 高宮城実人、玉城匠、呉屋かなめ 伊藝武士、喜納彩華 ほか 玉城和樹、竹田祐規、大城建大郎 棚原健太、澤井每里子、大濱麻未 親田鈴 新垣和代子、林杏佳 渡久地圭、山木友喜子、山城美帆
20	企画公演	3月12日	昼	組踊	新作組踊「真珠道」 第一部 琉球舞踊 「本貫花」「護身の舞」「汀間 当」「仲里節」 第二部 新作組踊「真珠道」	比嘉侑子、前川美智子、新城園美 伊禮ユキ子、伊禮末子、東江裕吉 新垣悟、嘉手苺林一、真境名律弘 上原崇弘、佐喜眞一輝、石川直也 仲村圭央、伊藝武士、知花令磨 比嘉大志、島袋浩大、岡本凌 西江喜春、花城英樹、玉城和樹 大城貴幸、名護みのり、入嵩西諭 徳田泰樹、宮里和希

【自主公演入場率】

公演数	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
1	4月24日	古典音楽の美	昼	307席	281人	91.5%	303席	227人	75.0%
2	5月15日	「執心鐘入」	昼	307席	282人	91.9%	303席	218人	72.0%
3	6月19日	男性舞踊家の会	昼夜	一席	一人	—%	616席	493人	80.0%
4	7月10日	「大川敵討」	昼	538席	272人	50.6%	303席	218人	72.0%
5	7月23日	琉球舞踊鑑賞会	昼	601席	237人	39.4%	303席	242人	80.0%
6	7月24日	琉球舞踊鑑賞会	昼	601席	236人	39.3%	303席	242人	80.0%
7	8月7日	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	昼	一席	一人	%	283席	226人	80.0%
	8月8日	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	昼	一席	一人	—%	283席	226人	80.0%
8	9月16日	沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	昼	474席	119人	25.1%	246席	197人	80.0%
	9月17日	沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	昼	474席	121人	25.5%	246席	197人	80.0%
9	9月18日	沖縄芝居公演「与那国シヨンガネー」他	昼夜	一席	一人	—%	944席	708人	75.0%
10	10月23日	銘苺子	朝昼	1,104席	622人	56.3%	630席	441人	70.0%
11	10月31日	アジア・太平洋地域の芸能	昼	601席	457人	76.6%	615席	400人	65.0%
12	11月13日	国立劇場寄席	夜	601席	284人	47.3%	619席	495人	80.0%
13	11月24日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝昼	1,104席	547人	49.5%	1,152席	806人	70.0%
	11月25日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝昼	1,074席	515人	48.0%	1,152席	806人	70.0%
	11月26日	組踊鑑賞教室「執心鐘入」	朝昼	1,104席	547人	49.5%	1,152席	806人	70.0%
14	11月27日	Discover KUMIODORI～「執心鐘入」	昼	541席	264人	48.8%	576席	403人	70.0%
15	12月18日	ゆらていく遊ば	昼	474席	282人	59.5%	562席	393人	70.0%
	12月19日	ゆらていく遊ば	昼	485席	264人	54.4%	562席	393人	70.0%
16	1月15日	琉球舞踊特選会	昼	601席	195人	32.4%	615席	431人	70.0%
	1月16日	琉球舞踊特選会	昼	601席	124人	20.6%	615席	431人	70.0%
17	1月22日	「伊祖の子」	昼	541席	151人	27.9%	561席	365人	65.0%
18	2月12日	「二童敵討」	昼	541席	171人	31.6%	561席	348人	62.0%
19	2月26日	歌舞劇「首里城物語」	昼	541席	333人	61.6%	561席	365人	65.0%
	2月27日	歌舞劇「首里城物語」	昼	552席	358人	64.9%	576席	374人	65.0%
20	3月12日	「真珠道」	昼	541席	345人	63.8%	615席	400人	65.0%
		合計		14,308席	7,007人	49.0%	14,785席	10,497人	71.0%

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3公演（6回）が中止となった。

※スクリーン上映会（公演中止の「男性舞踊家の会」（6月19日））

月 日	公演名		実績		
			座席数(a)	入場者数(b)	入場率(b)/(a)
9月25日	「男性舞踊家の会」スクリーン上映会	昼	356席	109人	30.6%

【各種イベント】

○公演関連イベント等

タイトル	日程・場所	料金	出演者等	参加者	応募数	定員	備考
組踊ワークショップ	7月10日(土) 12:30～13:30 大稽古室	無料	上原崇弘、 高井賢太郎、 新垣勝裕	11人	11人	20人	7/10組踊「大川敵討」 (糺しの場)
令和3年度おきな わ県民カレッジ美ら島 沖縄学講座「組踊への 誘い」	7月10日(土) 12:00～16:00 大稽古室	2,000円	嘉数道彦	26人	42人	42人	沖縄県教育委員会主 催。講座後、大劇場に て「執心鐘入」を鑑賞 (当日チケット購入： 一人2,000円)
外国人のための 組踊ワークショップ	11月27日(土) 12:00～13:30 大稽古室	無料	山城峻称、 高井賢太郎、 棚原健太	27人	25人	20人	11/27はじめての組踊 ～Discover KUMIODORI～ 「執心鐘入」
県外組踊ワーク ショップ富山	3月4日(金) 17:00～18:30 富山県 高志の国文学館	無料	嘉数道彦、 仲村逸夫、 玉城匠	28名	34名	40名	3月20日(日) 「二童敵討」富山公演 にむけて、事前のワー クショップを開催した
			合計	92名	112名	122名	

○その他イベント等

タイトル	日程・場所	料金	出演者等	参加者	応募数	定員	備考
おでかけワーク ショップin浦添 小学校	10月27日(水) 浦添市立浦添 小学校 小学校体育館	無料	嘉数道彦、 仲村逸夫、 玉城匠	107人			5年生対象
おでかけワーク ショップin前田 小学校	11月16日(水) 浦添市立前田 小学校 小学校体育館	無料	上原崇弘、 比嘉大志、 新垣勝裕	102人			4年生対象
おでかけワーク ショップin沢岷 小学校	12月27日(水) 浦添市立沢岷 小学校 小学校体育館	無料	嘉数道彦、 仲嶺良盛、 玉城匠	123人			6年生対象
国立劇場おきな わ友の会「実演 家ザ談会」	2月27日(日) 12:00～13:00 小劇場	無料	(出演) 高宮城実人 佐辺良和 仲村逸夫 玉城和樹 (聞き手) 嘉数道彦	62名	76名	250名	募集定員に満たさな かったため、ライン登 録者の参加も可能と した(参加者中、会 員55名、ライン7名)
無形文化遺産で つながるアジア の芸能 座談会	2月9日(水) 18:30～ 大稽古室	無料	嘉数道彦、 金城真次、 福岡正太、 Gopal Venu、 Kapila Venu、 Endo Suanda、 Suksanti Wangwan、 Hoang Trong Cuong、 Eddin Khoo	会場 9人			オンラインによるア ジア6カ国の伝統芸 能の研究者や実演家 による意見交換 Youtubeライブ配 信 常時視聴者60人前 後
			合計	403名	—	—	

※出演者等の下線は、組踊研修修了者